

令和7年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	奥飛騨さぼう塾	事業経緯	継続	実施体制	協力	担当所属	富山支所
事業名 (大項目)	専門的知識・技術の普及・伝承に関する事業	分類名 (中項目)	講習・講座・セミナー事業			事業区分	講座、セミナー、育成

1. 事業目的

平成17年に設立された「NPO法人神通砂防」は、神通川上流域での災害や砂防事業に関する歴史を継承するとともに、砂防事業の一層の促進を図るための活動を展開し、合わせて住民等の安全・安心の確保、防災意識の向上や安全なまちづくり、環境の保全等の活動を支援し、奥飛騨さぼう塾の活性化と奥飛騨の地域づくりに地域と一体となって取り組んでいる。

その活動への支援を通じ、砂防事業の必要性の啓蒙・普及を図り、砂防と共存する地域づくりを担う人材の育成に資する。

2. 事業実施体制

主催: 特定非営利活動法人神通砂防
 共催: 国土交通省神通川水系砂防事務所
 協力: 一般社団法人北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

- 上宝の歴史と文化財・大地(ジオ)・砂防の見学会
 開催日及び参加者: 令和7年7月17日(木) 北陵中学校20名
 見学先: ふるさと歴史館、本覚寺、桂峯寺、笹嶋観音堂、禅通寺、篠原懺然記念館ほか砂防・地すべり現場 等
 講師: 上宝郷土研究会ほか
- 砂防講演会
 地域の小中学生を対象とした講演会の実施
 開催日: 令和7年10月23日(木)～24日(金)
 対象校及び人数: 栃尾小学校3・4年生6名、名古屋大学生4名、本郷小学校3・4年生12名、北稜中学校2年生15名
 講師: 納口 恭明(防災科学技術研究所)ほか

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

地域づくり・防災教育を目的に「砂防学習村宣言」をしている奥飛騨地域での災害や砂防事業に関する歴史的な背景を伝承するとともに、土砂・火山災害に対する防災意識の向上、砂防事業への理解と協力の推進、また砂防を活かした地域づくりに寄与している。

学習ツアーにおいては、普段立ち入りできない砂防現場で事業の重要性を確認。砂防講演会では身近な材料を使ったわかりやすく実験で自然災害のメカニズムを理解し、身を守るために日頃から注意をしなければならない事項を教わった。また、奥飛騨地域で最大の災害、栃尾洞谷土石流災害(S54)の経験者から直接話を聞くことで、体験・知識の伝承に大きな役割を果たしている。

小・中学校の同一学年を対象に毎年これらの砂防授業を継続実施することで、土砂災害や砂防に関する知識を着実に広め、安全・安心な地域社会の構築に貢献している。



見学会:(上から)
 ふるさと歴史館
 新穂高溪流保全工
 中尾地熱発電所

講演会:(上から)
 共振現象実験(栃尾小学校)
 液状化現象実験(本郷小学校)
 雲の作り方実験(北陵中学校)